

《使い方》

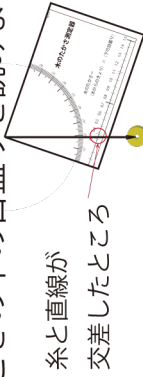
- まず、木から測定する場所までのきよりを巻き尺・歩数などではかります。



- つぎに、測定する場所から木のてっぺんが見えるように測定器の一边を合わせます。



- おもりのゆれがおさまってきたら、そのときの下の目盛りを読みます。



糸と直線が
交差したところ

- つぎの計算から木のたかさ（目盛りの数字）×（目盛りの数字）+（自分の身長）（木までのきより）×（目盛りの数字）+（自分の身長）

《木のたかさ測定器の作り方・使い方》

《用意するもの》

- 適当な長さの糸・5円玉などのおもり
- セロハンテープ

《作り方》

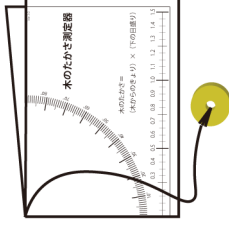
- おもりに糸を通してしっかりとむすびます。



- 糸のおもりのついていないほうを、にセロハンテープではりつけます。

- 折り線にしたがって、測定器が見えるように4つ折りにします。

《完成図》



x	tan x	x	tan x	x	tan x	x	tan x	x	tan x	x	tan x	x	tan x	x	tan x
11	0.1944	21	0.3839	31	0.6009	41	0.8593	51	1.2349	61	1.8040	71	2.9042		
12	0.2126	22	0.4040	32	0.6249	42	0.9004	52	1.2799	62	1.8807	72	3.0777		
13	0.2309	23	0.4245	33	0.6494	43	0.9325	53	1.3270	63	1.9626	73	3.2709		
14	0.2493	24	0.4452	34	0.6745	44	0.9557	54	1.3764	64	2.0503	74	3.4874		
15	0.2679	25	0.4663	35	0.7002	45	1.0000	55	1.4281	65	2.1445	75	3.7321		
16	0.2867	26	0.4877	36	0.7265	46	1.0355	56	1.4826	66	2.2460	76	4.0108		
17	0.3057	27	0.5085	37	0.7538	47	1.0724	57	1.5399	67	2.3559	77	4.3315		
18	0.3249	28	0.5317	38	0.7813	48	1.1106	58	1.6003	68	2.4751	78	4.7046		
19	0.3443	29	0.5543	39	0.8098	49	1.1504	59	1.6643	69	2.6051	79	5.1446		
20	0.3640	30	0.5774	40	0.8391	50	1.1918	60	1.7321	70	2.7475	80	5.6713		

日本ボーイスカウト東京連
進歩委員会

